

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



SSKP

いずみ

No.

170

2013年9月

社会福祉法人 泉会

法人本部
泉の家

〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号
☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463
izumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/izumi/

日の出舎
就労日の出舎
相談日の出舎

〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205
info@hinodesha.org
http://hinodesha.org/

グループホーム
いずみ

〒197-0825 あきる野市雨間322-12
☎042(550)9083
bwz12948@nifty.com

岡本福祉
作業ホーム

〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号
☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976
okamoto@izumikai.jp
http://izumikai.jp/okamoto/

岡本福祉
作業ホーム
玉堤分場

〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号
☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433
tamaturumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/tamaturumi/



園芸活動を始めました！（泉の家）

● 本年の聖句

主に望みを置く人は、新たな力を得、
驚のように、翼を張ってのぼる。
走っても、弱ることなく、
歩いても、疲れない。

（イザヤ書40章31節）

理事長就任のごあいさつ

理事長 佐分利 正彦



このたび、橋向敏治前理事長の後を受けて、泉会の理事長に就任いたしました。

前理事長は特に困難な時代にあって、優れたリーダーシップをもって泉会を指導され、多くの実績を残されました。後を受け継ぐ者として、責任の重さを痛感しています。

私自身は、学校法人の理事経験はありますが、社会福祉法人の運営についてはこれから多くを学ばなければならぬと考えています。

現在、社会福祉法人は、利用者の求める内容の多様化や、行政の方針変更などに対応することを求められています。その際、私たちは、外から求められる変化に内向きな対応をとらないように心掛けたいと思います。一方で、各施設の現場で利用者一人ひとりと向き合い、必要とされるサービスを提供して行くことの重要性は変わらないはずでです。

21世紀初頭にまとめられた泉会の基本理念は、泉会が今後新たな取り組みを始める際にも、立ち帰り参照してゆくべきものであると信じます。これから多くの困難に出会うことと思いますが、泉会構成員全員が充実感をもって、前を見ながら課題に取り組んで行くことを願います。

事業活動収支計算書

日の出舎・就労日の出舎(合算) (単位:円)	
就労支援事業活動収入	
就労継続B型	10,106,218
就労支援事業活動収入計	10,106,218
就労支援事業支出	
就労継続B型工賃	7,506,558
当期材料費	1,257,015
その他の経費	1,342,645
就労支援事業活動支出計	10,106,218
福祉事業活動収入	
介護給付費収入	154,948,352
訓練費等給付費収入	42,635,590
特定障害者特別給付費収入	11,071,582
利用者負担金他収入	23,827,457
補助事業等収入	723,588
経常経費補助金収入	42,234,000
寄付金収入	463,000
雑収入	1,798,606
国庫補助等取崩額	21,287,636
福祉事業活動収入計	298,989,811
福祉事業活動支出	
人件費	127,306,358
事務費	46,247,249
事業費	32,751,539
減価償却費	33,480,395
引当金繰入	9,634,259
福祉事業活動支出計	249,419,800
事業活動外・特別収支収入	130,110
事業活動外・特別収支支出	0
当期活動収支差額	49,700,121
前期繰越活動収支差額	284,511,945
当期末繰越活動収支差額	334,212,066
その他の積立金取崩額	0
次期繰越活動収支差額	334,212,066

	定員	現員
利用人数	45名	47名
施設入所	45名	47名
生活介護	45名	47名
就労継続B型	20名	24名
平均工賃	就労継続B型	26,064円

玉堀分場 (合算) (単位:円)

就労支援事業活動収入	
就労移行支援	914,834
就労継続B型	2,425,407
就労支援事業活動収入計	3,340,241
就労支援事業支出	
就労移行支援工賃	678,538
就労継続B型工賃	1,790,045
当期材料費	699,536
その他の経費	172,122
就労支援事業活動支出計	3,340,241
福祉事業活動収入	
補助事業等収入	48,630,835
寄付金収入	0
雑収入	21,120
福祉事業活動収入計	48,651,955
福祉事業活動支出	
人件費	22,309,363
事務費	15,196,206
事業費	6,535,986
減価償却費	214,083
引当金繰入	1,381,027
福祉事業活動支出計	45,636,665
事業活動外・特別収支収入	240,324
事業活動外・特別収支支出	1,000,000
当期活動収支差額	2,255,614
前期繰越活動収支差額	4,264,684
当期末繰越活動収支差額	6,520,298
その他の積立金取崩額	0
次期繰越活動収支差額	6,520,298

	定員	現員
利用人数	就労移行支援 6名	4名
	就労継続B型 13名	11名
平均工賃	就労移行支援 14,136円	
	就労継続B型 14,553円	

グループホームいずみ (単位:円)

福祉事業活動収入	
利用料収入	3,623,348
経常補助金収入	13,747,186
福祉事業活動収入計	17,370,534
福祉事業活動支出	
人件費	0
事務費	11,201,432
事業費	6,169,835
福祉事業活動支出計	17,371,267
事業活動外・特別収支収入	733
事業活動外・特別収支支出	0
当期活動収支差額	0
前期繰越活動収支差額	250,000
当期末繰越活動収支差額	250,000
次期繰越活動収支差額	250,000

	定員	現員
利用人数	4名	4名

岡本ホーム (合算) (単位:円)

就労支援事業活動収入	
就労移行支援	128,165
就労継続B型	1,037,129
就労支援事業活動収入計	1,165,294
就労支援事業支出	
就労移行支援工賃	95,675
就労継続B型工賃	773,520
当期材料費	268,014
その他の経費	28,085
就労支援事業活動支出計	1,165,294
福祉事業活動収入	
補助事業等収入	119,409,134
寄付金収入	10,000
雑収入	1,190,583
福祉事業活動収入計	120,609,717
福祉事業活動支出	
人件費	71,699,232
事務費	18,768,781
事業費	11,690,520
減価償却費	874,395
引当金繰入	6,082,150
福祉事業活動支出計	109,115,078
事業活動外・特別収支収入	170,100
事業活動外・特別収支支出	2,728,001
当期活動収支差額	8,936,738
前期繰越活動収支差額	8,706,377
当期末繰越活動収支差額	17,643,115
その他の積立金取崩額	0
次期繰越活動収支差額	17,643,115

	定員	現員
利用人数	生活介護 24名	28名
	就労移行支援 6名	1名
	就労継続B型 10名	8名
平均工賃	就労移行支援 7,973円	
	就労継続B型 8,058円	

本部 (単位:円)

福祉事業活動収入	
寄付金収入	8,600,000
雑収入	754,950
その他	0
福祉事業活動収入計	9,354,950
福祉事業活動支出	
人件費	406,543
事務費	2,937,845
事業費	0
福祉事業活動支出計	3,443,158
事業活動外・特別収支収入	3,740,288
事業活動外・特別収支支出	9,243,630
当期活動収支差額	38,566,492
前期繰越活動収支差額	47,810,122
当期末繰越活動収支差額	86,000,000
その他の積立金取崩額	8,600,000
次期繰越活動収支差額	39,210,122

泉の家 (合算) (単位:円)

就労支援事業活動収入	
就労移行支援	121,142
就労継続B型	4,701,681
就労支援事業活動収入計	4,822,823
就労支援事業支出	
就労移行支援工賃	66,773
就労継続B型工賃	3,265,867
当期材料費	1,224,732
その他の経費	265,451
就労支援事業活動支出計	4,822,823
福祉事業活動収入	
介護給付費収入	41,890,733
訓練費等給付費収入	28,274,478
利用者負担金収入	2,408,127
補助事業等収入	66,163,527
寄付金収入	227,188
雑収入	2,149,740
借入金元金償還補助金収入	744,000
国庫補助等取崩額	12,887,403
福祉事業活動収入計	154,745,196
福祉事業活動支出	
人件費	65,355,198
事務費	49,699,232
事業費	8,834,416
減価償却費	17,312,400
引当金繰入	4,417,607
福祉事業活動支出計	145,618,853
事業活動外・特別収支収入	1,204,203
事業活動外・特別収支支出	1,190,000
当期活動収支差額	9,140,546
前期繰越活動収支差額	17,058,434
当期末繰越活動収支差額	26,198,980
その他の積立金取崩額	0
次期繰越活動収支差額	26,198,980

	定員	現員
利用人数	生活介護 20名	18名
	就労移行支援 6名	0名
	就労継続B型 25名	21名
平均工賃	就労移行支援 11,130円	
	就労継続B型 13,495円	

貸借対照表 (法人合計)

資産の部			負債の部		
摘要	内訳	合計	摘要	内訳	合計
流動資産		420,083,204 (81,288,365増)	流動負債		50,697,320
現金預金	366,247,191		買掛金	9,450	
売掛金	1,521,761		未払金	29,909,684	
商品・製品	386,712		預り金	2,292,565	
原材料	92,720		仮受金	0	
未収金	49,703,422		賞与引当金	18,485,621	
立替金	9,950		固定負債		91,148,392
前払金	2,057,826		設備資金借入金	68,000,000	
その他の流動資産	63,622		退職給付引当金	23,148,392	
			その他の固定負債	0	
固定資産		1,024,507,891 (37,753,306減)	負債の部合計		141,845,712 (1,566,551減)
基本財産	719,146,730		純資産の部		
建物	674,019,790		基本金		167,037,230
泉の家	238,957,461		国庫補助金等特別積立金		577,077,424
日の出舎	435,062,329		その他の積立金		134,596,148
土地	45,126,940		移行時特別積立金	0	
泉の家	5,050,500		授産移行時特別積立金	0	
日の出舎	40,076,440		その他の積立金	134,596,148	
その他の固定資産	305,361,161		建設積立金	43,145,560	
建物	19,467,359		施設整備積立金	91,450,588	
構築物	51,894,650		次期繰越活動収支差額		424,034,581
機械及び装置	587,120		次期繰越活動収支差額	424,034,581	
車両運搬具	4,313,144		(うち当期活動収支差額)	79,276,649	
器具及び備品	67,782,026		純資産の部合計		1,302,745,383 (45,101,610増)
建設仮勘定	0		負債・純資産合計		1,444,591,095 (43,535,059増)
権利	253,208				
移行時特別積立金	0				
その他の積立預金	134,596,148				
その他の固定資産	26,467,506				
資産の部合計		1,444,591,095 (43,535,059増)			

脚注

	当年度末	前年度末
減価償却費の累計額	160,919,167円	110,499,163円



- 「事業の充実と新しい制度に向けて」
- 皆様のご支援により、泉の家に続き、日の出舎も改築する事ができました。あらためまして御礼申し上げます。ハード面がようやく整いました。そこで、2012年度は、支援や財務等各事業の充実に向けた取組と、障害者総合支援法と障害者虐待防止法が施行される事から、それぞれの準備と対応等、ソフト面に目を向けた事業展開を実施しました。
1. 障害者虐待防止法施行に向け、法人虐待防止規程及びリスクマネジメント要項を整備しました。
 2. 理念、方針や職員行動規範に基づき職員行動の個別チェックを実施する等職員の資質向上に努めました。
 3. 新法施行に伴い、新制度事業研究会を立ち上げ、新しい事業に向けて取り組みを行いました。
 4. 新会計基準移行の準備をしつつ、財務の安定化等を図る為利用者増と支援内容の充実を図る等稼働率の向上に努めました。
 5. 被災地支援については、就労系被災施設施設の製品販売や募金活動等、継続的に実施しています。

特集 理念研修

2013年度

法人新人研修報告

6月1日、日の出舎を会場に法人新人研修を開催しました。参加者は、泉の家から2名、岡本・玉堤から2名、日の出舎から2名、橋向理事長、7月より新しく理事長に就任する佐分利理事、研修担当の上原の計9名です。

まず、秋川駅近くのグループホームいずみを見学。ちょうど「入居者も在宅されており、部屋を見てもいいながら、話を聞くことができました。風通しの良い建物同様、居心地の良い住空間で、皆さんとてもリラックスした表情で過ごされていました。通所の時とは違う表情が見られたのではないのでしょうか。

グループホームは、今後、障がいのある方を支援する上で重要な事業となります。安心して生活できる住居につ

いて、実際に見聞きできたことは、大きな力になると思います。

グループホームを辞した後、日の出舎へ向かいました。舎内を案内してもらったあと、理事長の講話を聴き、グループワークを行いました。

理事長からは、2つのレジュメが出ており、1つは「福祉について」で、理事長がそれまでの多くの学びの中から得た持論を書かれたもの、もう1つは「仕事に対する姿勢」で、第一線で仕事をされてきた理事長の哲学・実学がぎゅしりと詰まったものです。これまでの新人研修法人理念研修で話された内容で、研修担当として何度も聴講していますが、毎回新しい気づきがあり、学ぶことの多いレジュメです。

講話後、グループワークを行い、1番

◆理事・泉の家施設長 保坂 俊晴

社会福祉法人泉会へようこそ！

もうすでに職員として働いていただいています。泉会には、泉の家・日の出舎・就労日の出舎・岡本福祉作業ホーム・同、玉堤分場があります。また、グループホームや短期入所などもあり、それぞれの特色、民立や区立の指定管理、勤務状況にも違いがあります。

本日の見学でより認識を深め、各事業のより良い交流の機会としていただけたら幸いです。

入職間もない状況では、勤務している事業所での、日々の業務を覚えることが優先とされると思いますが、2年目以降は、他の事業所のことや福祉の環境・日々の変化・外部に目を向けることを意識してください。泉会の発展を一緒に進めていきましょう。



自分に響いたことを発表してもらいました。『自謙の言葉（自分に言い聞かせる言葉）』『コミュニケーションに潜む本能（誰かがやってくれるだろう）』『会議の心得（他の人が話しやすいように自分の役割を考える）』『働く環境をよくしていく事』『コミュニケーションを大切にする』といった感想が発表されました。佐分利理事長からは、「皆さんの感想から、情報を共有する事が良い結果につながるだろうと思いました」という言葉をいただきました。

最後に全員に決意表明をしてもらいました。

『仕事を覚え、利用者・職員とコミュニケーションを取る』『日中活動で新しいことを始めたので充実させる』『1番笑顔の多い職員になる』『役割を自覚し、分らないことはすぐに尋ねる』『自分の持ち味を生かし、より良い施設にしたい』『日々の業務を回せるようにし、凝り固まらないようにしたい』この決意を大事にし、本人が実行できる職場環境を作っていくのが管理職や先輩の務めだと思います。

この新人研修は、7月で退任する橋向理事長にとって最後の研修となりました。



上原 絹代

◆事務局長・岡本福祉作業ホーム施設長 鈴木 弘士

新人職員の皆様、本日の新人研修は、自分自身を振り返る場です。

泉会の歴史や理念を学び、職員同士で話し合う事で、お互いの働き方や仕事への達成感について、文化の違いを感じる事もあれば、共感できる事もあると思います。これから、仕事をしていく上で困難に直面し、思うように行動できない時もあるでしょう。そのような時は、理念に立ち返りましょう。そして何よりも、気づきを多くもてる職員になって下さい。気づきは、行動の原動力であり、成長につながる大切なものです。また、人事評価のアクセスメント表には、泉会職員として求められる行動が書かれています。求められる行動は、理念・第三者評価の評価項目のカテゴリ、社会人基礎力などの視点、そして法人職員の声を取り入れまとめているので、参考になると思います。

最後に「私は、職場をこうして



人材育成は「人材育成」と読み替え、泉会としても力を入れており、現在「法人課長会」を中心に研修体系を策定中です。「泉会を利用してよかった」と言ってもらえる法人を目指して、これからも頑張っていきたいと思っています。

行きたい」という思いや考えを意識し、言葉にして下さい。目指すものと現実とのギャップを感じ行動に繋げて行くプロセスは、やる気に繋がります。

職場は、明るく、楽しく、みんなが気持ちよく働ける場ではなくてはなりません。共に頑張りましょう。

泉の家だより

【施設旅行の思い出】

5月と6月の2グループに分かれて、熱川温泉へ施設旅行に行ってきました。両日ともに天気恵まれ、気持ちの良い気候の中、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。1日目に立ち寄った「シャボテン公園」では、すぐ近くでリスさるやクジャなどの動物とふれあう事ができ、動物好きにおすすめのスポットです。ワラビーと触れ合っはじける笑顔を見せてくれたり、オウム達に「生懸命挨拶したりと普段はなかなか見る事のない、ご利用者の姿を見る事が出来ました。

ホテルでは、温泉で温まった後、皆さんお楽しみの宴会です。並んだたくさんのお料理を楽しんだ後は、カラオケタイムで大盛り上がり。興奮してなかなか寝付けなかったご利用者もいたようです。

2日目は中伊豆にある「みんなのハワイアンズ」でフラダンスショーの見学と中華料理の昼食です。お土産も選

び、楽しいひと時となりました。

旅行中のたくさんさんの思い出は、今、2階の廊下に展示中です。

（河村 律子）



動物たちとハイ、チーズ

日の出舎だより

【平井中学校福祉体験実習】

福祉施設体験で平井中学校の生徒さんが10名来舎し、最初は緊張もあり、少し心配になりました。けれども色々な活動に参加し、日中活動・作業活動・車椅子講習ができました。活動で何かしていることで段々と緊張感もほぐれてきて笑顔もみられいつも通りの顔になってきた様子でした。車椅子講習では初めての感覚で楽しんで体験

ができたとのことでした。

1日目の最後に感想を1人ずつ言ってもらいましたが、とても貴重な意見で、こちらとしても大変勉強になりました。例えばご利用者の印象は怖いという観念がありますが話すうちに優しいことや、施設という暗い印象ですが、中での活動は明るいことばかりであったとのことでした。

私自身もこの仕事を始めて2年半くらいになりますが、初めての印象は

岡本ホームだより

【就労の取り組み】

就労ではこれまで下請け作業を中心に行ってきました。今年度から午前午後作業の合間にラジオ体操を行い心身のフレッシュを図り、月曜日の朝にはGood&Newsを1人ひとり発表して、お互いの日常を知ることで親近感を深めています。皆の前で発表することが考えをまとめたり、相手に伝える

怖いという観念があり、話し方に気を付けていました。しかし、話してみると利用者のみなさんは優しく接してくれました。

平井中学校の生徒が来てご利用者に対しての言葉使い、活動に対しての「所懸命さが伺えて、私としても初心に戻りご利用者への対応を考えようと思いました。

（古川 真也）



陶芸を体験して頂きました

玉堤分場だより

【分場二泊旅行】

5月23日、24日に、二泊旅行に行ってきました。今年は江の島、鎌倉方面を観光し、なんとフェリーで房総半島へ！利用者の方皆さん、意外と鎌倉の大仏を見たことないという方が多かったようです。東京に住んでいる人ほど行かないのでしょうか。

旅行の2日間は、両日共に快晴で、暑いくらいでした。（分場の旅行はここ数年必ず雨に見舞われるのですが）江の島水族館も鎌倉の大仏も、遠足の子どもたちや、修学旅行の学生たちでとても賑わっており、見るのが少

る力になったりしています。

先日「健康」をテーマにグループワークを行い、休日の過ごし方や食生活について1人ひとり発表をしました。皆さん休日は朝・昼兼用或いは夜は食べない等1日2食の方が多く、食材としては豆腐・豆類が少ない指摘がありました。休日は家でゆっくりと過ごす方、決まった所へ出かける方とパターン化している方が多いようでした。それぞれ栄養士と看護師から助言を頂き自分の健康や生活について振り返る事が出来ました。今後もグループワークを行う予定です。

（国生 いづみ）



健康と食生活、とても大切ですね！

グループホーム いずみだより

【全国障害者スポーツ大会を 目撃しよう！】

鈴木 由夏さん

5月26日（日）駒沢競技場で開かれた東京都障害者スポーツ大会にフライングディスク競技に出場しました。今年はおなじみだったけれど皆に励まされて「頑張ってみようかな」と思っ公園に行っても練習しました。当日はとっても緊張したけど頑張って遠くまで飛ばしました。そのあと全国



フライングディスク全国大会へ出場します

大会の選手に選ばれましたと知らせがあつてびっくりしました。面接や説明会に管理人さんに連れて行ってもらつてお話を聞くたびにすごく緊張してドキドキしますが、10月10日から14日まで1人でホテルに泊まってしっかり頑張ろうと思います。

（津島 将次）



たくさんの観光客で賑わっていました！！

しばかり大変でしたが、観光名所と呼ばれるところを巡ったことで、旅行らしい旅行になったのではないのでしょうか？中でも、皆さんに好評だったのは、2日目に行った、みんなの里という場所での「お団子作り体験」でした。よもぎ団子と五平もちを作りましたが、よもぎ団子は機械で作りましたが、五平もちは、自分達で、お米を潰さなくてはならず、利用者の方々と職員が協力し、汗水流して頑張りました。味の方はいかがでしたか。

二泊旅行では、いつも以上に、利用者の方々の笑顔をみることができ、楽しんでいただけたのではないかと、うれしく思いました。

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月、一、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一三年八月十三日発行（SSKKP通巻五四七五号）

泉会理事長の交代のお知らせ

理事長橋向敏治は7月12日をもって退任し、13日に後任として新理事長佐分利正彦が就任いたしました。

橋向は2001年から2013年まで12年間泉会の理事長を務め、ご利用者が安心・安全に施設を利用できるよう、満足度の向上を目指し事業所運営に努めました。また、ご利用者が自ら生活している地域で当たり前の生活をするための地域福祉のあり方が求められる中、法人が地域福祉の拠点としてその使命を果たし、地域に根差した福祉を展開できるよう、地域住民の信頼関係を大切にして参りました。

また、この12年の間に、社会福祉は措置から契約に移行しましたが、措置費制度から支援費制度、自立支援法、障害者総合支援法と障害者の取り巻く環境は大きく変わり、法人は経営体力の強化という大きな課題に取り組みました。

最初に、コンサルタントを導入し経営改革に取り組みました。経営理念・経営方針の策定、中長期計画の策定などを行い法人が目指すビジョンを明確にしました。また、給与制度の改革や人事考課制度の導入などを行い、法人一休経営を目指しました。

昨年、10月に障害者虐待防止法が施行され、虐待防止の規程を策定しましたが、理事長就任後には、人権実態調査を実施するなどご利用者の権利擁護に対する取り組みも率先して取り組んできました。そして、法人の諸規程と運用について社会保険労務士に協力を得て、コンプライアンスチェックを行うなど、法令遵守する立場を明確にし運営してきました。人材育成は、6月の新人研修、11月の法人理念研修では自ら講師となり、「経営理念はなぜ必要か」、「福祉運営と福祉経営の違い」、「施設職員に求められる倫理」、「施設職員に課せら

れた義務」、「コミュニケーションを阻む5つの本能的な心」などについて心をこめて講話しました。

事業拡大も、グループホームの開設、短期入所事業開始など時代のニーズに即したサービスを提供しながら、長年の念願であった「泉の家」と「日の出舎」の建替えに率先して取り組み、実現しました。

これまで、泉会の事業にご支援ご協力を頂いた地域の方々、関係者の皆様には深く感謝申し上げます。泉会は今後ともご利用者・職員共々明るい、楽しい、風通しの良い施設運営を目指します。

事務局長 鈴木 弘士



発行所 障害者団体定期刊行物協会 領部五十円
東京都田舎区六の二六の二二
編集人 社会福祉法人 泉会

製品紹介

玉堤分場のクッキー

玉堤分場のクッキーは、お客様の用途に応じてラベルのデザインを変える事ができます。有料にはなりますが、ご希望のメッセージや写真、イラストもラベルに印刷することが出来ます。ご注文の際は是非ご相談下さい。

●料金

- ①玉堤分場ラベルに指定の文字・日付を入れる。
↓500円
- ②お客様指定の写真やイラスト、文字を入れる。
↓1000円
- ③白黒印刷（ラベルの紙の色を選べます。）↓無料
- ④カラー印刷
↓12枚で20円



連絡先：玉堤分場

tel : 03-5707-9431 e-mail : tamatutumi@izumikai.jp